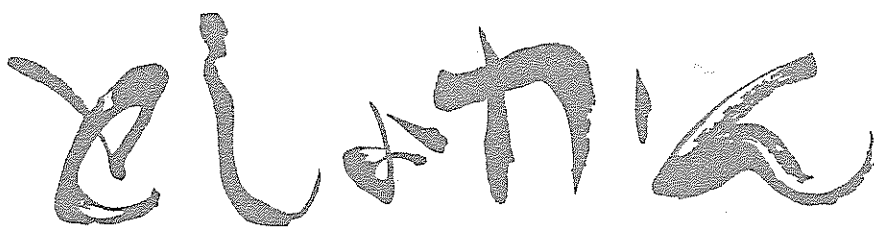


宇都宮市民憲章

- 1 健康で、心のふれあう明るいまちをつくりまします。
- 2 きまりを守り、活気あふれる楽しいまちをつくりまします。
- 3 学ぶことを大切にし、文化の薫る美しいまちをつくりまします。



編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320 TEL 36-0231

読書の世界に遊ぶパートⅡ

読書案内

今年もいよいよ最後の月を迎え、「今年一年間は…」と振り返る時期になりました。

そこで、この一年間に出版されたたくさん本のの中から、話題になったものを拾ってみましょう。

まずは、阿川弘之の『井上成美（いのうえしげみ）』新潮社。この本は、今年度上半期に、多勢の人が予約をして読んだものです。現在でも、貸出中で予約している人がいます。

うれしいこともありました。鹿沼出身で現在ご両親が宇都宮にお住まいの、山田詠美さんの『ソウル・ミュージック・ラバーズ・オンリー』角川書店が直木賞を受賞しました。新聞記事などでお知りになって、お読みになった方もいらっしゃるでしょう。最近、文庫本にもなりました。同じく、白石一郎の『海狼伝』文藝春秋も受賞しています。

直木賞といえば「芥川賞は？」となります。これは村田喜代子の『鍋の中』文藝春秋でした。春から夏にかけて、キングスレイ・ウォードの『ビジネスマンの父より息子への30通の手紙』新潮社が、読まれていました。九月に

は、中央公論社主催の女流文学賞が発表になりました。受賞作は田辺聖子の『花衣ぬぐやまつわる…』集英社でした。この本は割とボリウムのある作品ですが、多くの方々に読まれたようです。



次は、安部龍二の『塙の中の懲りない面々』文藝春秋に予約が集中しました。『塙の中のブレイ・ボール』や『塙の外の男と女たち』なども読まれていました。

現在、たくさんの方々を待たせているのは、なんと言っても億万智の『サラダ記念日』河出書房新社です。もう一か月も待っているという方もいらっしゃるようです。今、五冊蔵書していますが、さらに三冊を注文しているところです。予約なさってお待ちの方、もうしばらくご辛抱ください。

今までに紹介した本の他に、新

聞などで書評欄にとりあげられたものをいくつか紹介します。

▲『夕あり朝あり』三浦綾子、新潮社
▲『父のいる食卓』本間千枝子、文藝春秋
▲『愛と幻想のファシズム（上・下）』村上龍、講談社
▲『盗まれた記憶』イゴール＆グリチカ・ボグダノフ、白水社
▲『ライシャワー自伝』ライシャワー、文藝春秋
▲『鴨漕ぎ』生島遼一、筑摩書房

最近、予約が多くなってきたものに、村上春樹の『ノルウェイの森（上・下）』講談社。五木寛之の『大人の時間（上・下）』新潮社などがあります。

今回の児童書は、今年後半に出版された絵本の中からいくつかをご紹介します。

絵本といえば、やはり幼児が本を読む姿を思い浮かべることが多いでしょう。楽しい本がいろいろありますよ。

◆もぐらがわつ、渡辺有一・ひさかたチャイルド◆ながいながいすべりだい・長新太・偕成社◆あきのえんそくはたからさがし・立原えりか（文）薄久保友司（絵）・佼成出版社◆きつとみんなよろこぶよ！・ピーターズピアー・評論社。

童話を読むようになると、絵本なんてこどもっぽい。と思う年頃

があるようですが、ぜひ読んでほしい本があります。

◆ジュリアスはどこ・ジョンバリーニガム・あかね書房◆おじいちゃんかきたひから・ジュディス・ケイストリー・文化出版局◆おかあさんになったりすのちび・河本祥子・福武書店◆こりをすきになった山・アリス・マクレーラン（文）エリック・カール（絵）・偕成社。

さて、おとなにとってもやっばり絵本は楽しいものです。子どもといっしょに楽しんだり、ひとりで静かに読んでもいいですね。

◆ルピナスさん・バーバラ・クニー・ほるぷ出版◆おんぼろヨット・長谷川集平（文）村上康成（絵）・ブックローン出版◆わがままな大男・オスカー・ワイルド（文）リスベイト・ツベルガー（絵）・富山房◆くらゐくらくおはなし・ルース・ブラウン・佑学社◆冬の日・舟越カナン（文）井沢洋二（絵）・ジーシープレス。

内容までは紹介できませんでしたが、読んでみたい本があったでしょう。もう読んでしまった本もありましたか？ 良い本だと思ったら、おともだちにもぜひ紹介してください。最後になりましたが、図書館で本がみつからないときには、どうぞ係におたずね下さい。

『個人文学全集』の紹介

日本文学①

宇都宮市立図書館の蔵書冊数は、現在約40万冊です。(寄贈を含む。)

今月は、その中でもふだん皆さんの目にふれることの少ない個人全集について紹介します。

個人全集は、一般開架室のスペースの関係上、原則として一巻から三巻までを一般開架室に、四巻以降を地下の保存書庫に置いていきます。保存書庫にあるものについては、職員が持ちしますのですので申し付け下さい。

また、読みたい作品が全集の第何巻に入っているか調べたいときには、一階カウンター内に全集の目次をコピーしたファイルが、三階調査相談室には『全集内容総覧』・『個人全集作品名総覧』などの参考

読書活動推進講座①

黒田 杏子氏

9月27日(日)俳人の黒田杏子氏を迎えて、第1回読書活動推進講座を開催しました。

黒田杏子氏は職業人・俳人・主婦と一人三役をこなして活躍されています。

「俳句のある人生」のすばらしさを俳人としての色々な体験を通

資料がありますのでご利用下さい。図書館では、現在、全集の内容細目の登録作業をおこなっています。この作業が完了すれば、それぞれの作品名から、直接端末機で検索することができるようになります。

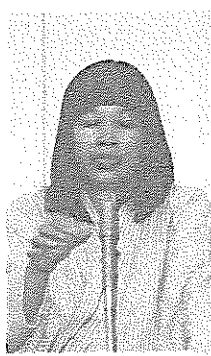
◇『阿川弘之自選作品』全10巻・新潮社
◇『芥川龍之介全集』全12巻・岩波書店
◇『芥川龍之介全集』全8巻・別巻1・筑摩書房
◇『安部公房全集』全15巻・新潮社
◇『鮎川信夫著作集』全10巻・思潮社
◇『石川淳選集』全17巻・岩波書店
◇『石川啄木全集』全8巻・筑摩書房
◇『鏡花全集』全28巻・別巻1・岩波書店
◇『伊藤整全集』全24巻・新潮社
◇『井上光

晴長篇小説全集』全15巻・福武書店
◇『井上靖エッセイ全集』全10巻・学研
◇『井伏鱒二自選全集』全12巻・新潮社
◇『内田百閒全集』全10巻・講談社
◇『内田魯庵全集』全14巻・ゆまに書房
◇『梅崎春生全集』全7巻・別巻1・沖積舎
◇『江藤淳著作集』全6巻・講談社
◇『続・江藤淳著作集』全5巻・講談社
◇『円地文子全集』全16巻・新潮社
◇『大江健三郎作品』第一期全六巻・第二期全六巻・新潮社
◇『大岡昇平全集』全18巻・岩波書店
◇『大岡昇平全集』全15巻・中央公論社
◇『大岡信著作集』全15巻・青土社
◇『桂月全集』全13巻・日本図書センター
◇『大宅壮一全集』全30巻・別巻1・蒼洋社
◇『岡本かの子全集』全15巻・冬樹社
◇『紅葉全集』全6巻・日本図書センター
◇『小沼丹作品集』全5巻・小澤書店
◇『折口信夫全

して具体的に語られました。人はそれぞれ自分を表現したいという意欲を持っており、それは抑えることのできないものです。俳句を詠みたいと思ったら誰でも入れるが、その奥が深いのです。写真と異なり、俳句は立体的なものであつて紛れもなく作者の全

身が映っているものです。

俳句を作ることによって自分が表現できること。そして俳句で表現するためには季節の動きとか季語というものを丹念に見るようにになり、何気なく生きていた自分の生命がその一つ一つによって活性化すること。それから句会や吟行などによって自分以外の仲間を得るというコミュニケーションの場



を持つということ。

この三つが俳句の大きな魅力であり、全身を賭けて打ち込めば打ち込むほど大きく自分を満たしてくるのです。

本に貸出券をはさまないで!!

「貸出券を本にはさんで返本したのですがありませんか」とたずねる方がありますが、別の利用者の方や係が本の間から貸出券を発見することがしばしばあります。貸出券は落すだけでなく本や紙芝居にはさみ込んで気がつかないまま紛失となつてしまう例がかなり見受けられます。返本する時は、貸出券はもとより何かはさんだまま直して下さるようお願いいたします。

貸出券の更新

貸出券の有効期限は三年間ですが、それ以降も更新をして使うことができます。期限が切れてしまつたからといって、捨てないでください。もし、期限が切れちゃつたり切れていない方は、一階のカウンターで更新をしてください。更新は、有効期限の二か月前から受け付けています。

また、住所・電話番号等に変更がある場合は、その手続きもとってください。

合同読書会

松本 富生氏

10月11日(H)第63回文学界新人賞を受賞なさった松本富生氏を迎えて、合同読書会を開催しました。

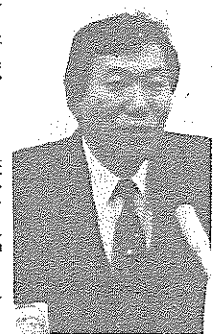
氏は韓国生まれで、35歳まで日本人になるか否か悩み続けた、と自分を紹介されました。

次に、受賞作であり今回のテキストでもある『野薔薇の道』につ

にとつては注意すべき点であると指摘されました。

また、氏は小説だけでなく、短歌の世界にも浸り切っているという点で、自然描写が多く、その自然を自分で消化しているということだったそうです。この自然描写は時として成功するが、場合によっては全く無意味となることも多いので、自分で作品を書いている人

氏に、現在西那須野町在住ですが、県内至るところで講演をし、時には文学とはかけ離れた福祉問題などについての依頼も受け、その



の度に研究をして講演に臨まれているそうです。今後は、物優先の心の喪失時代という世情のなかで、心の問題・社会問題に取り組んでいきたい、と結ばれました。

読書活動推進講座

立松 和平氏

10月24日(H)作家の立松和平氏を迎えて、第2回読書活動推進講座を開催しました。

テレビ番組の取材などを通して日本の広さを実感したことから話を進められました。

この日本列島の東側を流れる黒潮によって南方から文化が運ばれ

て来た。例えば浦島伝説というのは各地に残っており、時間やその土地の地形などによって変わって行った列です。

そして農村が開発されて行ってもどんなに土地の表情が変わってもその土地のどこかになお変わらな

ているのです。

栃木県においても、わずか百年余り前に起きた戊辰戦争の記憶が人々の中からは消えてしまっているが、当時の藩士の墓や石碑は残っている。そういう歴史を見て来ると突然ダイナミックに石が光って来るのです。

この栃木県は物語が充満している土地であって、掘れば噴出して



来る世界が沢山あり、無限に小説を書いて行くことが可能な場所なのです。

こういうことを掘って行って作品に展開して行きたいと思えます。

図書館利用者大集会

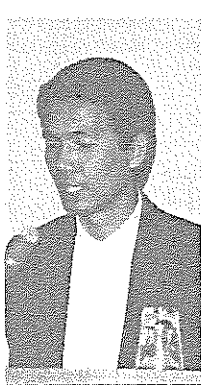
沢木耕太郎氏

11月8日(H)ノンフィクション作家の沢木耕太郎氏を迎えて、図書館利用者大集会を開催しました。

「私の視点」をテーマに、現在取り組んでいる活動について話されました。それは、『深夜特急』の第三便がなぜ書けないかの疑問にも深い関わりを持った内容でし

た。

氏は、去年から今年にかけて今までやったことがないような仕事を2つ続けてやった、ということです。一つは、かつてサイゴンの特派員だった故近藤敏一氏の遺したエッセイ、論文など何千枚という未発表原稿の編集であり、もう



一つは、戦争写真家ロバート・キヤパの伝記を翻訳することでした。前者は、氏が『テロルの決算』で大宅壮一ノンフィクション賞を受賞した際、近藤氏も『サイゴンから来た妻と娘』で同時受賞した縁もあり、彼の人柄を出そうと苦心した結果、約780ページ・上下2段の本となり今年1月、『目撃者』のタイトルで出版されました。

玄関ボーチ天井 改良工事完了

長い間、出入りにご不便をおかけしましたが、十月中旬からの、玄関ボーチ天井改良工事が完了しました。

ご協力ありがとうございました。なお、工事完了に伴い、休館日や夜間に自動扉横に設置していましたが、臨時のブックポストは廃止します。従前通り、正面玄関右壁のポストをご利用ください。

目録箱

問 返却期限がきても、本を読み終わらない時などは電話による期限の更新をしてほしいのですが

答 図書貸し出しをするときは必ずコンピュータで処理をしなければならず、継続して読みたいときは図書館に来ていただき、一度返却し、改めて貸し出しすることになっています。これは予約図書を発見するためでもあるのです。お手数ですが、ご了承ください。

親子映画会

日時 12月13日(日)

第1回 午前10時30分

第2回 午後1時30分

場所 市立図書館3階集会室

題名①わがままな巨人

②一休さん―悪代官とお化け

寺

③背負子日記

定員 150名、入場は無料ですが整理券が必要。詳細はライブラリーへ。

冬休み
お楽しみ会

冬休みの一日を、人形劇やパネルシアター、おはなしをきいたりして、楽しく過ごしてみませんか。

日時 12月25日(金)

午前の部 10時30分～11時30分

午後の部 1時30分～2時30分

場所 市立図書館3階集会室

出演 宇都宮子どもの本連絡会の皆さん

内容 スライドによる読み聞かせ

人形劇、パネルシアター、おはなしなど。

対象者 人形劇や読み聞かせに関心のある市内の子どもたちや両親等。

心のある市内の子どもたちや両親等。

定員 180名

申し込み 当日受付で、定員になり次第締め切りです。

クリスマスのおはなしもあります。ぜひ、ご参加ください。

落語会

第32回落語会を開催します。

生の落語会の模様を「声の図書」として作成し、目の不自由な方々に、「聞く読書」を楽しんでいただいております。

だいております。

ニュース
コーナー

寄席の雰囲気を出すためには、あなたの笑い声がいちばんです。ご来場をお待ちしております。

日時 1月16日(土)午後3時～5時

場所 市立図書館3階集会室

読書活動推進講座

日時 1月17日(日)

午後1時30分～3時30分

講師 未定(交渉中)

場所 市立図書館3階集会室

テーマ 未定

定員 120名

受付 1月8日(金)午前9時30分から、電話か直接、市立図書館へ。

貸出状況

区分	62年10月	62年度累計 62/4～62/10
登録者数	432人	115,709人
貸出人 数	館内	18,836人
	視聴覚	2,933
	館外	3,601
計	25,370	166,005
貸出冊 数	館内	63,314冊
	視聴覚	7,889
	館外	15,305
計	86,508	567,852

(注) 登録者累計数は、開館からの累計数

10月の 館内 1日あたり 館外 1ステーションあたり

貸出人数 753人 31人
貸出冊数 2,533冊 132冊

利用案内

○開館時間

午前9時30分～午後7時

ただし、児童図書室は午前9時30分～午後5時

○休館日

毎週月曜日

国民の祝日

○図書整理日(毎月初日または翌日)

○貸出は

一人5冊。2週間以内。

○年末年始休館

62年12月28日～63年1月4日

この期間、返却はブックポストを御利用下さい。

○移動図書館車の運休

62年12月22日～63年1月9日

12月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			①	2	3	4
6	⑦	8	9	10	11	12
13	⑭	15	16	17	18	19
20	⑳	22	23	24	25	26
27	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕

63/1月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					①	②
③	④	5	6	7	8	9
10	⑪	12	13	14	⑮	16
17	⑮	19	20	21	22	23
24	⑮	26	27	28	29	30

ボランティア製作

あたらしい本

▽少女誘拐事件(岩下節子)▽ビジネスマンの父より息子への30通の手紙(関光子)▽トッコはわたぼうしになった(増山初美)▽でぶちゃんとうさん(渡辺ふみ)

声の図書

▽ムツゴロウの無人島記(間康子)▽なめとこ山のくま・セロひきのゴシユ・ポラーノの広場(石井武子)▽ヨーロッパ汽車旅行・ジュリアングリーン全集1(横山嘉子)▽森村桂の食いしんぼ旅行(今城優子)▽おやすみティベア・迷い道(黒川敏子)▽燃えるペルシヤ湾・森村桂香港へ行く(藤田東子)▽風の又三郎(宇佐美玲子)▽妻の前科(須藤秀代)▽父の詫び状(藤原捷子)▽女の警察(吉野直利)▽罪の夜想曲(木村あい)

寄贈

小林豊「実感の豊かな教育をめざして」東京ガス宇都宮支社「ガス灯のある街・旅」斎藤博子「いつも傍らに」稲葉フク子「裏切られたベトナム戦争」青柳静枝「夏椿」星昇次郎「中國思想史」渋谷行雄「おほるり」他。